

第 40 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	小山ゼミ II
チーム名	チーム CSR
タイトル	企業による環境行動
テーマ群	c) 公共経済
メンバー	◎小川、今井、大久保、大迫、大谷、岡田、 川端、北口、谷田
研究計画内容	<p>私たちは企業の環境行動について研究することにした。</p> <p>このテーマを選んだ理由は、最近、大手企業による環境保全キャンペーンを宣伝する CM・ポスターをよく目にするようになったことがきっかけで、なぜ企業は多くの資金を投入して環境保全活動を行うのか？どのような活動を行っているのか？本当に効果はあるのか？それが利益に繋がるのか？などの疑問が出てきたからだ。</p> <p>そこで、いろいろな企業の HP を調べると CSR 報告書というものがあることを知った。CSR とは「Corporate Social Responsibility」の略で日本では「企業の社会的責任」と訳される。環境省が作成している環境・循環型社会・生物多様性白書によると CSR の定義として「企業は社会的な存在であり、自社の利益、経済合理性を追求するだけではなく、ステークホルダー（利害関係者）全体の利益を考えて行動するべきであるとの考え方であり、行動法令の遵守、環境保護、人権擁護、消費者保護などの社会的側面にも責任を有するという考え方。」と記されている。</p> <p>この CSR 報告書を基に産業別に企業の環境行動について売上高・環境行動への投資・CO2 排出量・リサイクル率などあらゆる項目を比較することで、環境保全に対して努力を払っている企業、また努力の足りない企業など、自分たちなりに評価しようと考えている。また中小企業においては、環境行動を行う資金が大企業よりも調達できないので、その少ない資金の中でどのような工夫を行い、環境行動に取り組んでいるのか、なども調べてみようと思う。</p>